

- ◆佐藤町長が今回出馬するにあたって掲げた公約
- 災害公営住宅への引っ越しの完遂
- 復興工事の完遂
- 住宅再建への支援
- 新斎場の新築移転
- 産業振興の支援
- 医療福祉の向上
- 学校給食センターの建設

## 山田町まちなか交流センター開館へ

※9月定例会は「クールピズ」実施期間中に行われました。

**山** 田町まちなか交流センター（以下、交流センター）の設置、管理に関する事項等を定めるため「山田町まちなか交流センター条例」を制定しました。

交流センターは、まちなか再生区域内に建設され、市民の交流の場として利用できるスペースと食育や特産品を使った商品開発ができる調理機能を備えた施設です。また、震災ギャラリーおよび談話室があり、幅広い世代がくつろげる「緩やかな場所」を持ち合わせた施設です。

- 施設の紹介
- ▼建築面積 267・47平方メートル
- ▼延床面積 648・02平方メートル
- ▼構造 鉄骨造3階建
- ▼1階 交流イベントスペース
- ▼2階 交流スペース、震災ギャラリー、談話室
- ▼3階 調理室、多目的室

■主な質疑  
**問** 交流センターの使用開始は、共同店舗棟の完成時期と合わせるのとこのだが、共同店舗棟の付属施設となるのか。  
**佐々木水産商工課長** 共同店舗棟との抱き合わせではなく、交流センターは自立した建物として運用していきたいと考えている。

定例会や臨時会などの議案審議や一般質問での質疑全文を記録した会議録は、12月下旬ころから、議会ホームページ、ふれあいセンターで閲覧可能となる予定です。

**具** 体的な施策として今回出馬する際に掲げた7項目の公約について説明し「復興の完遂はすなわちゴールではなく、ここから新たな山田町のスタートである。そのための基礎となる種まき

を着実に果たし、復興後の町に大輪の華を咲かせていかなければならない。たくましく生まれ変わろうとするこの町のこれから4年間、粉骨砕身、やり遂げる」と決意を表明しました。

これに対し、10人の議員が一般質問に立ち、8人の議員がそれぞれの立場から所信をただしました。

## 船越・田の浜地区復興事業

### 長林大浦線道路築造工事始まる

**町** 道浦の浜田の浜線の起点部から町道長林大浦線に接続する道路として新たに整備されるものです。

■主な質疑  
**問** 道路築造のための盛り土により、浦の浜の既存町道に接続するための道路が必要になると思うが。  
**川守田建設課長** 岩手県が実施している防潮堤工事の中で、盛り土工事をし、防潮堤を乗り越す形で擦り付けることとなっている。

- 工事の概要
- ▼工期 28年9月26日～29年11月6日
- ▼契約請負額 2億8350万円
- ▼受注者 株式会社山下組（花巻市）

**問** 東日本大震災の津波は、B&G体育館下の法面まであがった。浸水の心配はないか。  
**建設課長** 東日本大震災クラスの津波でも浸水しない設計になっている。

※この号の金額の記載は、個別の記載がない限り全て1万円以下切り捨てです。